

日頃より、皆様の日々の活動に厚くお礼申し上げます。本日は【活動時における災害時・緊急事態の対応】と
【活動時の安全・衛生面に関する対応方法】についての研修です。
研修をすることにより、咄嗟の判断のたすけになれば良いと考えます。宜しくお願ひ致します。

活動時における災害時・緊急事態の対応と 活動時の安全・衛生面に関する対応方法



令和7年11月26日(水) ラポール研修

災害時対応マニュアル

1. 基本方針

利用者と介護職員双方の **安全を最優先**

災害時は状況に応じて **サービスを中断**
変更する場合あり

地域の避難指示や行政の情報を優先
して行動する

2. 事業所への連絡事項

- ・利用者の安否、避難状況、
介護の継続可否を速やかに報告
- ・災害の規模によっては、サービス
提供の一時中止・変更の判断あり
- ・事業所からの指示に従う

3.災害別初動対応

火災発生時



- ・まず自己と利用者の安全を確保
- ・119番に通報
- ・初期消火が可能なら消火器で対応
- ・避難経路を確保し、利用者を安全な場所へ
- ・避難誘導
- ・初期消火が可能なら消火器で対応
- ・常用薬・必要物品を可能な範囲で持ち出す

地震発生時



- ・揺れている間は、テーブル下や家具から離れた場所で頭を守る
- ・揺れが収まったら利用者の安全を確認
(怪我・閉じ込めなど)
- ・家屋の倒壊・火災・ガス漏れ等を確認
- ・避難が必要な場合は近隣住民
消防に応援を依頼

⚡ 停電・断水時

- ・ライト・携帯バッテリーを活用
- ・医療機器（酸素、吸引器など）を使用中の場合は予備電源を確認
- ・水分・食料の備蓄を確認し、不足時は家族・自治体に連絡



🌀 風水害・土砂災害時

- ・テレビ・ラジオ・防災アプリ等で避難情報を確認
- ・警戒レベル3以上が出たら利用者家族へ避難を促す
- ・自力で避難困難な場合は、消防自治体に連絡
- ・必要物品を持って指定避難所や福祉避難所へ移動





災害時チェックリスト（ヘルパー用）

出勤前

- 気象警報・避難情報の確認
- 事業所からの指示を確認

災害後

- 利用者の体調・ケガの有無を確認
- 食料・水・医療機器の状況を確認

利用者宅に到着時

- 利用者の安否確認
- 室内外の危険箇所を確認
- 避難情報・避難経路を確認

- 事業所へ報告し、サービス継続可否を相談



災害発生時

- まず自分と利用者の安全確保
- 110番や消防へ通報（必要時）
- 利用者を避難誘導（薬・介護用品を持参できる範囲で）
- 事業所・家族連絡

LLT介護サービスセンター

電話 045-476-0606

住所 横浜市港北区新横浜2-7-20

介護家庭用 防災・減災チェックリスト

1. 家の安全対策

- 家具・家電を固定している
- ガラスに飛散防止フィルムを貼っている
- 廊下・出入口に物を置かず避難経路を確保
- 火災警報器・消火器を設置し使い方を確認
- 懐中電灯・モバイルバッテリーを常備

2. 利用者・家族の情報整理

- 利用者の医療・介護情報を一覧にまとめている
(持病・服薬・主治医・ケアマネ連絡先)
- お薬手帳・保険証・介護保険証のコピーを
非常持ち出し袋へ入れている
- 緊急連絡先
(家族・事業所・地域包括)を一覧化している

3. 備蓄

- 飲料水 (1人1日3ℓ × 家族人数分 × 最低3日分)
- 非常食 (レトルト・介護食・とろみ剤・ゼリー食など)
- 紙おむつ・尿取りパッド・清拭タオル
- 常用薬+予備 (主治医に相談済み)
- 口腔ケア用品 (歯ブラシ・入れ歯用品)
- 携帯トイレ・生理用品・衛生用品

4. 避難準備

- 避難先 (避難所・福祉避難所・親族宅) を確認
- 避難経路を家族で確認し、車椅子や杖の動線を確保
- 移動に必要な介助具 (車椅子・歩行器・介助ベルト) を準備
- 避難持ち出し袋を玄関近くに置いている

5. 日常の減災工夫

- 介護用品や食料をローリングストックしている
- 電池式ライト・ソーラー充電器を備えている
- 家族で安否確認方法
(携帯・災害用伝言ダイヤル171・LINEなど)を決めている
- 防災チェックや避難動作の練習をしている
- ケアマネ・訪問介護事業所と災害時の連絡方法を共有している



外出時災害にあった場合の連絡方法

[災害発生]



[安全確保]



[状況確認]



[連絡手段確認]

─ 携帯・スマホOK → 事業所（家族・GH）に連絡



災害用伝言板に登録 『web171.jp』

─ 携帯・スマホNG → 公衆電話 / 避難所 / 警察・消防



[状況・支援内容を伝える]



[必要に応じて避難]

「web171」にアクセスとは？

アクセスとは、スマートフォンやパソコンでの災害用伝言板（web171）のホームページを開くとご利用いただけます。

手順（スマートフォンの場合）

- ① スマートフォンのインターネットブラウザ（Safari, Chromeなど）を開く
- ② 画面上部のアドレス欄に「web171.jp」と入力する
- ③ 「検索」または「開く」をタップする
- ④ 伝言を入力
・100文字以内で登録できます。
- ⑤ 見た目のイメージ



↑【実際の物とは違います。】

LLT介護サービスセンター

電話 045-476-0606

住所 横浜市港北区新横浜2-7-20

NKY新横浜ビル7階

障がい者 活動時の安全・衛生面に関する対応

1. 体調管理の徹底

活動前に体温測定や体調の確認
(眠気・食欲・疲労など) を行う。

体調不良が見られる場合は無理をさせず、
休息や医療機関への相談を優先する。

定期的に本人や支援者間で健康状態を
共有する



2. 気温や天候への配慮

- 暑い時期は熱中症対策として、こまめな水分・塩分補給を促す

- 涼しい服装・帽子の着用、
日陰での休憩を確保する。



- 冬場は防寒対策を徹底し、
低体温症を防ぐ。

- 室内活動でも換気・湿度管理を行う。

3. 衛生面での工夫



- ・手洗い・うがい・手指消毒を習慣化する。
- ・食事・休憩スペースを清潔に保つ。
- ・使用器具（車椅子・歩行器・道具など）は定期的に消毒・点検する。



4. 活動内容・負担の調整

- ・障害の特性や体力に合わせて、無理のない活動・役割分担を行う。
- ・必要に応じて休憩時間を多めに設定する。
- ・安全確保のためにスタッフのサポート体制を整える。



★まとめ

障がい者の活動時には【体調変化に早く気付くこと】【無理をさせない環境づくり】が最も重要。安全と衛生を確保することは、本人の安心と活動の継続につながります。

● 緊急時対応・連絡方法

① 状況確認 (事務所に連絡)



✓ 意識・呼吸の有無を確認



● 意識なし／呼吸なし → 119番通報 (事務所から) → 心肺蘇生・AED

(119番通報は事前に決めておく)

● 胸痛・呼吸困難・大量出血・骨折の疑い → 事務所に連絡 (119番通報) → 応急処置

(119番通報は事前に決めておく)

● 発熱・体調不良 (軽度)



📞 事業所への連絡 → (ケアマネ・主治医・家族)



📝 記録・報告



研修お疲れ様でした。

今回の研修は咄嗟の判断が重要になります。いつ起きるか分からない事に向き合うのはとても大変な事だと思います。皆様の命・利用者様の命を少しでも守れるように参考にして下さい。

